



(一社) 沖縄県労働基準協会  
八重山支部

支部長 **米盛 博明**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より当協会八重山支部の活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、観光需要の回復により地域の建設業、宿泊・サービス業、運輸・物流業が活発化した一方、人手不足や繁忙期の業務集中に伴い、転倒・墜落、荷役作業中の挟まれ、熱中症などの労働災害も確認されました。また、新規雇用者や外国人労働者が増加しており、安全教育や現場でのコミュニケーション確保が引き続き重要な課題となっております。

八重山地域は離島ゆえに、災害時の応急対応や医療機関への搬送に時間を要するという構造的な不利があります。台風や豪雨など自然災害の影響を受けやすい環境でもあるため、日頃からの危険予知や安全対策の質が重大災害防止に直結することを、昨年を通じて強く感じたところです。

こうした状況を踏まえ、本年は「現場力の底上げとゼロ災の実現」を重点方針として掲げてまいります。(1)



八重山支部職員

新規入職者・外国人労働者を含む安全教育の充実、(2) 八重山の気候特性を踏まえた熱中症予防対策の強化、(3) 中小事業所の安全衛生体制の底上げ、の三点を柱として事業所の皆様とともに取り組んでまいります。

労働災害の多くは基本の徹底で防ぐことができます。作業手順の遵守、危険予知活動、声かけなど、日々の取り組みの積み重ねが安全文化を育てます。当支部としても、関係各位と連携し、安全で安心な職場づくりに努めてまいります。

本年が、地域で働く皆様にとって安全で実り多い一年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。



八重山労働基準監督署

署長 **津田 憲志**

新年あけましておめでとうございます。謹んでお慶びを申し上げます。

旧年中、貴協会並びに会員の皆様におかれましては、当署の行政活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当署においては、全産業において死亡災害ゼロ、休業 4 日以上死傷災害を前年より減少させることを目標に新年度をスタートしました。11 月末現在において、死亡災害は発生しておらず、死傷災害は前年度比 25.5% 減少 (10 月末累計) という状況であり、目標達成が見込まれるところです。これは貴協会並びに会員の皆様をはじめとした管内の関係機関の皆様が労働災害防止に向け、たゆまぬ努力を続けていただいた結果と受け止めており、この場を借りて感謝申し上げます。

本年は、特定自主検査及び技能講習の不正防止対策の強化や混在作業場所における元方事業者等への措置



八重山労働基準監督署職員

義務対象の拡大、高年齢労働者の労働災害防止の推進、治療と仕事の両立支援の推進といった改正労働安全衛生法が段階的に施行されていきます。

当署では、引き続き、死亡災害ゼロ、死傷災害減を目標に、改正法の周知をはじめとした労働災害防止に向けた各種取組を積極的に行ってまいります。皆様にご置かれましても引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が貴協会並びに会員各社の皆様にとりまして実りある 1 年となりますよう祈念いたしまして新年のごあいさついたします。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。